



大学サッカーデビューを果たした山崎。緊張感を見せぬ動きで堂々とプレー

MAN OF THE MATCH

MF 八角剛史

先制点を上げた八角がこの試合の MOM。この試合、3 ボランチといった新しいフォーメーションに挑戦した駒大だが、八角は攻守ともに安定したプレーを見せた。



先制点を挙げた八角。「今日のポジションは自分に合っていると思う」とコメント (撮影・川崎篤彦)

開幕白星発進!

駒澤大学 2 × 0 専修大学

4月1日 12:00 西が丘サッカー場
駒大 2 (1 - 0) 0 専大 (5位・3)
(10位・0)

得点者(アシスト)
【駒】29分:八角剛史 1(柳崎祥兵 1)
【駒】84分:原 一樹 1

KOMAZAWA	SENSHU
GK 三栗寛士(4)	GK 徳永雅俊(3)
DF 阿部琢久哉(4)	DF 天野数士(4)
DF 廣井友信(4)	DF ³⁴ 鈴木崇之(1)
DF 塚本泰史(3)	DF 山田 直(4)
MF 筑城和人(4)	MF ³² 堀池 翔(1)
MF 八角剛史(3)	MF 野村直幸(3)
MF 柳崎祥兵(4)	MF 岡崎 翔(3)
(79分 島田祐輝(2))	(69分 ³³ 伊藤卓也(1))
MF 田谷高浩(3)	MF 池田末廣(4)
MF 小野里銀児(3)	(55分 岡田悠真(4))
(73分 ³⁹ 山崎健太(1))	MF 遠藤好孝(3)
MF 原 一樹(4)	FW 渡辺 太郎(2)
(86分 山下真太郎(2))	(77分 ³⁶ 黒澤光士(1))
FW 巻 佑樹(4)	FW 荒田智之(3)
S U B	S U B
GK ²¹ 山内達夫(3)	GK ³¹ 高橋 初(1)
DF ³⁵ 伊藤 龍(1)	DF 槻木清志(4)
DF ³⁰ 鈴木寿毅(2)	MF ²⁴ 高尾真人(4)
FW ²⁵ 高崎寛之(3)	FW ²² 田辺健太(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	源平貴久

[シュート]19:5[GK]11:27[CK]10:2[PK]0:0[直接FK]11:12[間接FK]1:4[OS]1:4[主審]唐木田徹(静農)約800人
上記データは全て左側の数字が駒澤

発行人 伊藤優香
スタッフ 遠藤雅之 川崎篤彦
深松美里 香取真人 斉藤卓也
永田博義 林 雄大
FORZA駒大は毎週金曜に発行! お便り、感想などはこちらまで
〒154 8625 東京都世田谷区駒澤1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」
Eメール forzakomazawa@sho-trail.com
TEL/FAX 03(3418)9556
発行人 伊藤 優香

課題と収穫の新システム

4 4 2。これまでの駒大のシステムである。しかし、この日の駒大は3バックに3ボランチの新システムに挑戦。菊地の出場停止という理由からでもあるが、将来センターFWが居るとは限らない。巻の頭だけでなく、二次三次攻撃が出来るように(秋田監督という将来を見据えた采配であった。

春の合宿からずっと練習してきたいるだけあり、違和感なくこなしたイレブンだが、「上手くいった所と機能しなかった所があった」(筑城)。機能した部分は前線にスペースが生まれることである。また3ボランチということから、攻撃時に厚みのある攻撃を仕掛けることが出来る。1点目の得点シーンが正にそうである。柳崎からのパスを八角が決めた場面。八角が攻撃参加出来たことで厚みのある攻撃が仕掛けられるのだ。ただ、守備に課題が浮上。マークの受け渡しが上手くいかず、サイドを突破される場面が何度もあった。更には、「対一をしつかり決めないと勝てる試合で勝てない」と原が口にしたように、決定力の問題である。何度かあった決定的場面を決めきれず、自らを苦しめてしまった。

課題と収穫共に手にした駒大だが、新たなオポジションが加わったことは確実にチームにとってプラス。前に速く「がコンセプトだが、それに加え「考えるサッカー」に挑戦する駒大。ますますチームに磨きをかける王者駒大のひしりは計り知れない。

(伊藤 優香)



次節は明治大学と対戦!

<場所> 江東区夢の島競技場
<日程> 4月9日(日) 14:40

競技場へのアクセス

JR 京葉線または、地下鉄有楽町線「新木場」駅下車、徒歩5分